教育改革・ＤＸ・ＧＸ推進対策特別委員会　県外行政調査

１　調 査 日　　令和８年 10 月 20 日（火）～21 日（水）

２　調査の概要

（１）10 月 20 日（火）

〇学校法人神山学園神山まるごと高等専門学校（徳島県名西郡神山町）

学校法人神山学園神山まるごと高等専門学校は、令和５年４月に開校され、15 歳からテクノロジー、デザイン、起業家精神を一度に学ぶ独創的なカリキュラムで、「モノをつくる力で、コトを起こす人」を育成することを掲げている。

演習や実験を組み合わせた実践を重視した授業を行っている。また、最前線で活躍する起業家講師を迎え、学生が直接話を聞いて対話する「起業家講師 Night」などの特有のプログラムも実施され、技術面だけではなく社会に新たな価値を生む出す人間の育成に努めている。

本委員会では、「後期中等教育段階における魅力的な教育の推進について」を重点調査項目の一つとしており、滋賀県立高等専門学校が令和 10 年４月に開校を迎える今、今後の委員会活動の参考とするため、同校を訪問し、高等専門学校における特色ある学びについて調査を行った。





（２）10 月 21 日（水）

〇香川県議会（香川県高松市）

香川県では、平成 21 年 10 月に、「県立高校の再編整備基本計画」を策定し、平成 29 年４月には、小豆島中央高等学校と三豊工業高等学校の２校を新たな統合校として整備した。現在は令和 12 年４月にさぬき市にある県立高校を統合する計画を進めている。

また、統合した小豆島中央高等学校においては、地域みらい留学を進めているが、令和２年３月に策定した魅力あふれる県立高校推進ビジョンに基づき、県立高校の魅力化の取組を

進めている。

本委員会では、「後期中等教育段階における魅力的な教育の推進について」を重点調査項目の一つとしており、今後の委員会活動の参考とするため、同県を訪問し、県立高校の統合による影響や県立高校魅力化の取組について調査を行った。





〇株式会社ハイレゾ（香川県高松市、綾歌郡綾川町）

株式会社ハイレゾはAIの研究開発に欠かせないデータセンターについて、廃校の建物等を活用して設置するなど、自治体の休眠資産を活用し、地域活性化と持続可能なデータセンター事業を推進している。

生成AIの急速な普及によりデータセンターの需要が高まっているとともに、今後は少子化等の影響により廃校が増加していくことが見込まれ、本事業はデータセンターの建設コストの削減および廃校の有効活用の手段として期待される。

本委員会では、「本県におけるDX・GXの推進について」を重点調査項目の一つとしており、今後の委員会活動の参考とするため、同社のデータセンターを訪問し、廃校等を活用したデータセンターの整備について調査を行った。



